

平成 21 年度 事業報告書
(平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

情報科学に関する国際研究交流助成

情報科学に関する国際研究集会の開催を奨励し、研究者の国際的研究交流を推進するために、研究者海外派遣助成、外国人研究者交流助成、国際研究集会助成及び特定分野研究交流助成を実施した。

1. 研究者海外派遣助成

将来を担うべき有能な若手研究者を対象に、海外で開催される情報科学に関する国際研究集会派遣のための渡航費及び滞在費の一部を助成した。

(1)平成 21 年度前期研究者海外派遣助成

平成 21 年度前期研究者海外派遣助成金として 7 件総額 1,170,000 円を交付した。

(2)平成 21 年度後期研究者海外派遣助成

募集・選考

助成募集要項は大学等学術研究機関・その他関係機関等約 500 ヶ所に郵送し、申請書は財団ウェブページからダウンロードまたはプリントアウトできるようにした。平成 21 年 5 月 1 日から 6 月末日まで募集したところ、申請が 71 件あった。平成 21 年 7 月 24 日開催の選考委員会において慎重に審議し、8 件を採択、2 件を補欠とした。

決定・交付

選考委員会の選考結果を受け、平成 21 年度後期研究者海外派遣助成金交付対象者を決定し、8 件総額 1,500,000 円助成金を交付した。

2. 外国人研究者交流助成

将来を担う有能な外国人研究者又はそれを受け入れる研究者を対象に、日本で開催される国際研究集会参加、又は日本の研究機関において共同研究を行うための渡航費及び滞在費の一部を助成した。

(1)平成 21 年度前期外国人研究者交流助成

平成 21 年度前期外国人研究者交流助成金として、1 件 150,000 円交付した。

(2)平成 21 年度後期外国人研究者交流助成

募集・選考

助成募集要項は大学等学術研究機関、大使館その他関係機関等約 500 ヶ所に郵送し、申請書は財団ウェブページからダウンロードまたはプリントアウトできるようにした。平成 21 年 5 月 1 日から 6 月末日まで募集したところ、申請が 8 件あった。平成 21 年 7 月 24 日開催の選考委員会において慎重に審議し、1 件を採択とした。

決定・交付

選考委員会の選考結果の報告を受け、平成 21 年度後期外国人研究者交流助成金交付対象者を決定し、1 件総額 250,000 円の助成金を交付した。

3. 国際研究集会助成

日本における情報科学に関する国際研究集会の開催を奨励するとともに国際的研究交流を促進することを目的に、国際研究集会の開催助成を行った。

(1)募集・選考

平成 22 年 8 月 31 日までに日本国内で開催される情報科学に関する国際研究集会を開催する研究者を対象に、平成 21 年 5 月 1 日から 6 月末日まで募集したところ、申請が 17 件あった。募集要項は大学等学術研究機関、大使館その他関係機関等約 500 ヶ所に郵送し、申請書は財団ウェブページからダウンロードまたはプリントアウトできるようにした。平成 21 年 7 月 24 日開催の選考委員会において慎重に審議し、2 件を採択とした。

(2)決定・交付

選考委員会の選考結果の報告を受け、平成 21 年度国際研究集会助成金交付対象者を決定し、2 件総額 1,000,000 円の助成金を交付した。

4. 特定分野研究交流助成

ソフトウェア分野における情報技術の将来を見通した研究課題の提言を行うことを目的に、産学の研究者が活発に交流する調査研究グループによる、ワークショップの開催、海外からの研究者の招聘及び国際会議への派遣を中心に研究交流助成を行った。

(1)募集・選考

助成募集要項をソフトウェア関係学会のメーリングリストに配信し、平成 21 年 4 月 6 日～26 日の間、対象テーマを募集したところ、10 件の申請があった。なお、申請は主査となる大学等学術研究機関の研究者が行うものとした。平成 21 年 5 月 11 日の特定分野運営委員会において慎重に審議され、3 件が採択された。

(2)決定・交付

特定分野運営委員会の選考結果を受け、平成 21 年度特定分野研究交流助成として 3 件の助成対象テーマを決定し、総額 3,727,194 円の助成金を交付した。

(3)対象分野および各活動内容

効果的なディベンドブル Web 開発に向けたアスペクト指向ソフトウェア技術の調査研究

(助成金額 1,272,268 円)

要求の依存関係に基づいた要求充足度の観測と管理に関する調査研究 (助成金額 1,600,000 円)

クラウドコンピューティングにおけるセキュリティとプライバシーに関する調査研究

(助成金額 854,926 円)

(4)成果の報告

平成 20 年度産学戦略的研究フォーラム全体報告会を平成 21 年 5 月 11 日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)において行った。また、別途ウェブページ上で成果報告を公開した。

平成 21 年度調査研究成果の全体報告会開催を決定した。発表者の予定を鑑み、平成 22 年 5 月 11 日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)にて行うこととした。

研究者交流促進事業

研究者交流促進事業基金規程に定めた研究者交流促進事業の一環として、教育的国際交流助成、学会誌等の翻訳を実施した。

1. 教育的国際交流助成

情報科学に意欲的に取り組む大学生および大学院生を対象として、国際的交流の場を提供するとともに、内外の若手研究者との交流を図る。

(1)ACM(国際計算機学会)が世界的規模で開催している国際大学対抗プログラミングコンテストのアジア

地区予選を助成した。

選考・決定・交付

ACM 委員会において、平成 21 年度国際大学対抗プログラミングコンテスト(ACM-ICPC)アジア地区予選東京大会(開催校:早稲田大学)の開催助成が承認され、これを受けて理事長が ACM-ICPC 東京大会への助成を決定し、開催費として 7,263,57 円の助成金を交付した。

実施概要

日時: 平成 21 年 11 月 7~9 日

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1)

早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区大久保 3-4-1)

主催: ACM-ICPC 東京大会実行委員会、早稲田大学、ACM 日本支部

大会委員長: 箕捷彦(早稲田大学教授)

内容: ACM-ICPC は同一大学の学生 3 人 1 チームが、コンピュータプログラミングの正確さと速さを競うコンテストで、地区予選は世界大会出場チーム選抜のために世界各地で行う。当大会はアジア地区予選に該当した。まず、日本国内予選がインターネットを利用して行われ、本選は国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、出題、進行等についてはすべて英語が使用された。

参加校: 国内予選(7 月 3 日 Web 上で開催) 70 校 276 チーム

東京大会本選 国内 20 校 28 チーム、海外 7 校 7 チーム 計 27 校 35 チーム

結果: 1 位東京大学チーム、2 位上海交通大学(中国)チーム、3 位国立台湾大学チーム

(2)プログラミングに関して将来有望な大学生を対象に技術向上および国際交流促進を目的とした派遣助成およびワークショップ等の開催助成を行い、4 件総額 1,065,262 円の助成金を交付した。

スウェーデンへの派遣助成

派遣期間: 平成 21 年 4 月 6~10 日

派遣先: KTH - Royal Institute of Technology (スウェーデン・ストックホルム)

対象者: 金子知適(東京大学・大学院生) ほか同大学生 3 名

渡部有隆(会津大学・大学院生) ほか同大学生 3 名

黄隆裕(埼玉大学・大学院生) ほか同大学生 3 名

目的: 国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会参加

助成金額: 640,000 円

台湾への派遣助成

派遣期間: 平成 21 年 10 月 30 日~11 月 1 日

派遣先: National Chiao Tung University (台湾・新竹)

対象者: 北川宜稔(東京大学) ほか同大学生 2 名

目的: 国際大学対抗プログラミングコンテスト新竹大会参加

助成金額: 116,712 円

タイへの派遣助成

派遣期間: 平成 21 年 11 月 3~4 日

派遣先: Prince of Songkla University (タイ・プーケット)

対象者: 会津大学コンピュータ理工学部大学生 3 名

目的: 国際大学対抗プログラミングコンテストプーケット大会参加

助成金額: 173,700 円

ワークショップの開催助成

開催日: 平成 21 年 9 月 18~21 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

委員代表：福澤太（東京工業大学大学院情報理工学研究科 大学院生）
松崎公紀（東京大学 / 高知工科大学准教授）

テーマ：プログラミング技術の向上および学生間の交流促進

助成金額：134,850 円

2. 国際交流促進助成

情報科学における指導的立場の研究者の活発な国際交流を促進するために、旅費助成を行った。

(1) 国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会における運営ディレクターの交流のための旅費助成を行った。

助成対象者：高橋竜一（早稲田大学）

派遣先：ACM/ICPC World Final Directors' Meeting（スウェーデン・ストックホルム）

派遣期間：平成 21 年 4 月 6～10 日

助成金額：148,350 円

(2) GRACE International Symposium on Advanced Software Engineering 2010 の外国人講演者の招聘助成を行った。

助成対象者：Joshua Kerievsky（Industrial Logic, Inc. アメリカ）

招聘期間：平成 22 年 3 月 15～17 日

助成金額：250,000 円

その他の事業

1. 学会誌の翻訳・刊行

CACM 日本語版編集委員会（委員長：早稲田大学山名早人教授）が、CACM (COMMUNICATIONS of the ACM) に掲載された特集記事から、日本人研究者が特に興味を持つと思われるテーマを考慮し、専門研究者に翻訳監修を依頼して、日本語版を作成し、当財団ウェブページにおいて電子出版した。時宜になかった話題をより読み易い形で情報科学研究者に提供した。

第 20 号「画期的躍進をもたらす研究」

翻訳監修：建部修見（筑波大学）

2. 機関誌の作成

財団機関誌「イズ」第 28 号を作成し、財団の活動状況、助成金交付対象者及びその報告等を関係各署に配布した。

3. Web ページの作成

研究者海外派遣助成・外国人研究者交流助成の募集および情報公開、特定分野研究交流助成についての募集および報告公開、関係資料公開に関する Web ページの作成を行った。